

令和4年5月16日

高松市長 大西 秀人 殿

高松商工会議所
会頭 泉 雅文

中小・小規模事業者への経営支援に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、中小・小規模事業者は、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け自己変革に取り組んでおり、こうした挑戦を促進するためには、より一層の支援が必要です。

また、宿泊業や交通業をはじめとする観光産業は、コロナ禍による感染拡大防止のための外出抑制、国際的往来制限等の影響から、人流の減少やインバウンドの消失など経営環境の激変が生じています。国の観光需要喚起策の県民割は当初の予定から3カ月遅れて令和4年4月より再開しておりますが、Go to トラベル事業は再開が未定であり、観光産業への政策的な支援が十分ではない状況にあります。このため、特に傷んでいる宿泊・公共交通事業者を対象に、観光需要が感染拡大前の水準にまで回復する間、需要・消費喚起策を追加で早急を実施するとともに、各種イベントの開催に向けた工夫や代替イベントを検討することについても要望いたします。

さらに、コロナ禍による影響に加え、ウクライナ危機の長期化、原材料・資源価格等の高騰や円安が今後も進行することが懸念されています。日本商工会議所が令和4年4月に実施した調査において、円安進行が業績に与える影響について、メリットの方が大きいと回答した企業が1.2%に対し、53.3%の企業がデメリットの方が大きいと回答しており、原材料・部品等の仕入価格や燃料・エネルギー等の価格上昇に伴う負担増、仕入コスト上昇分を販売・受注価格へ転嫁できず収益が悪化するなどの影響を強く懸念しております。

つきましては、下記のとおり緊急に要望いたしますので、市内中小・小規模事業者へのより一層のご支援をお願い申し上げます。

記

1. 中小・小規模事業者の自己変革に向けた挑戦支援

国が実施している小規模事業者持続化補助金、事業再構築補助金等の補助制度を補完する制度を創設されたい。

2. 需要・消費喚起策

(1) 宿泊施設の利用促進策

市内宿泊施設の利用回復を支援するため、持続可能な観光促進、需要喚起策を講じられたい。

(2) 公共交通機関の利用促進策

市内公共交通の利用回復並びに公共交通機関の機能維持を図るため、公共交通機関の利用促進・支援を図られたい。

(3) イベント等の促進策

コロナ禍の長期化に伴い、各種イベントの中止が続いておりますが、市民の活力維持や観光客誘致等の観点から、コロナ禍においても工夫しての開催可能性を模索されるとともに、特に大型イベントを中止する場合には、代替イベントの開催等についても検討されたい。

3. 資源・原材料価格の高騰や円安の進行に対する支援

資源・原材料価格の高騰や円安の進行により、中小・小規模事業者は様々な影響を受けており、この状況が続くようであれば、幅広い業種においてコロナ禍を上回るような影響が懸念されている。こうした状況を注視し、必要な対応策を適時適切に講じられたい。

以上